

吹田市  
公共交通維持・改善計画  
実施・検討事業

令和4年（2022年）7月時点

# 令和4年度以降に実施・検討する事業

・令和4年3月に吹田市公共交通維持・改善計画マスタープランを策定し、以下の各事業を位置付けた。

## 参考：事業スケジュール一覧

【凡例】 黒字 & ➡ : 継続実施 赤字 & ➡ : 新規 青字 & ➡ : 見直し後実施予定			見直し(5年)							見直し(10年)		
事業内容			R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
事業1	公共交通サービスの維持・向上	車両のバリアフリー化	➡									
		交通事業者各社の利便性や利用環境向上に向けた取組み	➡									
		バス停環境の改善	➡									
事業2	運行情報の提供	広報誌、公共交通マップによる情報提供	➡									
		リアルタイムな運行情報提供 近接情報検索の継続	➡									
		コミュニティバスへのデジタルサイネージの導入	➡									
事業3	利用サービスの提案	高齢者自動車運転免許証の返納者向けのサービス	➡									
		学生(小・中学生)に向けた運賃補助	➡									
事業4	安全な公共交通事業の推進	交通事業者各社の安全運転等に関する取組み	➡									
		交通事業者各社の取組みを吹田市HPに掲載	➡									
事業5	バス路線の見直し	交通需要と供給のバランスに応じた運行の検討	➡									
		将来の公共交通ネットワークの形成及び拠点整備に合わせたバス路線の見直し(都市計画道路、土地区画整理業に合わせた路線検討)	➡									
事業6	交通結節点の機能向上	自転車駐車場が不足する駅における自転車駐車場の整備推進	➡									
		公共交通の機能を補完するシェアサイクルの拡充	➡									
		自転車駐車場情報の空き状況の発信	➡									
		乗換え動線の更なるバリアフリー化	➡									
事業7	地域コミュニティ交通の創出	鉄道駅からバス・タクシー等への乗継ぎ案内情報の充実	➡									
		地域主体による交通手段導入のしくみ検討	➡									
事業8	公共交通の魅力の発信	Webサイト、イベント開催、ファンクラブ、啓発グッズ制作の継続	➡									
		教育機関との連携(モビリティマネジメント)	➡									
事業9	担い手の確保	各企業における人材育成、技術継承等の取組みの継続	➡									
		各事業者の取組みを吹田市HPに掲載	➡									
事業10	次世代交通システムの積極導入	交通事業者各社のMaas、自動運転等の取組みの継続	➡									
		各事業者の取組みを吹田市HPに掲載、関係部局との協力・連携	➡									

・事業の進捗について

事業1	公共交通サービスの維持・向上
-----	----------------

車両のバリアフリー化	継続
------------	----

高齢者、障がい者等の利用環境の向上を図るため、バス事業者が進めるノンステップバス車両の導入に要する費用を補助し、車両のバリアフリー化を推進する。

バリアフリー法に基づく基本方針における時期目標において令和7年度末までに乗合バス車両の約80パーセントをノンステップバスとする目標値が設定されているため、更なるノンステップバス率の向上を図る。

令和4年度導入車両数：未定

吹田市内のノンステップバスの導入状況（令和4年3月末時点）

	阪急バス	近鉄バス	京阪バス	合計
路線数	9	1	1	11
台数（吹田市内を走るもののみ）	99	52	34	185
ノンステップバス	70	51	23	144
ワンステップバス	29	1	11	41
ノンステップバス導入率（%）	70.7%	98.1%	67.6%	77.8%

交通事業者各社で実施されている利便性や利用環境向上に向けた取組みを市ホームページに掲載している。

参考：ホームページ掲載状況

JR西日本 新型コロナウイルス感染症防止対策について

JR西日本では、新型コロナウイルス感染症防止対策として以下の対策をしており、**安心して**ご乗車いただけます。  
 【主な対策】  
 ○通勤車両等では、車内に設置している換気装置や空調装置また窓の開放等により常に換気を行っています。  
 ○車内の手すりや吊り革を定期的に消毒しています。また、駅の階段や手すり等についても可能な限り消毒しています。  
 ○駅の自動券売機等およびエレベーターに抗ウイルス・抗菌材の噴霧加工を施しています。  
 ○主な千区・区間の列車の時間帯別の混雑状況及び駅のご利用状況をお知らせしています。

詳しくは[JR西日本のHP](#)をご確認ください。

阪急電鉄(株) 新型コロナウイルス感染症防止対策について

阪急電鉄(株)では、新型コロナウイルス感染症防止対策として以下の対策をしており、**安心して**ご乗車いただけます。  
 【車内の主な対策】  
 ○車内は空調装置のファンの稼働や、車窓の開放により、十分に換気し運行しています。  
 ○保有する全ての車両で、抗ウイルス・抗菌加工を完了しています。  
 ○駅では、券売機や階段の手すりなど、お客様が頻りに触れる箇所を定期的に消毒しています。  
 ○ラッシュ時間帯のご利用状況をお知らせしています。

詳しくは[阪急電鉄\(株\)のHP](#)をご確認ください。

北大阪急行電鉄(株) 新型コロナウイルス感染症防止対策について

北大阪急行電鉄(株)では、新型コロナウイルス感染症防止対策として以下の対策をしており、**安心して**ご乗車いただけます。  
 【主な対策】  
 ○車内の換気のため、窓の開放を行い運行しています。  
 ○車内には、抗ウイルス加工を施すとともに、定期的に消毒作業を実施しています。  
 ○駅では、券売機や階段の手すりなど、お客様が頻りに触れる箇所を定期的に消毒しています。  
 ○朝ラッシュ時間帯におけるご利用状況をお知らせしています。

詳しくは[北大阪急行電鉄\(株\)のHP](#)をご確認ください。

大阪モノレール(株) 新型コロナウイルス感染症防止対策について

大阪モノレール(株)では、新型コロナウイルス感染症防止対策として以下の対策をしており、**安心して**ご乗車いただけます。  
 【主な対策】  
 ○車内の換気を行うため、車両の一部の窓を開けて運行しています。(3000系車両については、空気清浄機を稼働しています。)  
 ○定期的な車内消毒を実施しています。  
 ○車内および駅設備を抗ウイルス施工済みです。  
 ○全駅改札窓口および休憩スペースに手指消毒液を設置しています。  
 ○飛沫防止のため、改札窓口に透明シートを設置しています。  
 ○朝、ラッシュ時間帯における混雑状況を公表しています。

詳しくは[大阪モノレールのHP](#)をご確認ください。

阪急バス株式会社 電気バスが一般路線に登場！

千里ニュータウン線で電気バスが運行しています。低騒音・低振動で乗り心地も快適なようですよ！一度話のネタに乗ってみてはいかがでしょうか。バスのデザインもいつもと異なるデザインになっています。

対急路線：千里ニュータウン線  
 運行開始日：2022年4月11日(月)

詳しくは[コロナ](#)、時刻表は[コロナ](#) (阪急) (SHP) をご確認ください。  
 タイプ、使用車両は予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。  
 運用に関するお問い合わせはご連絡くださいとのことです。

近鉄バス株式会社 新型コロナウイルス感染症防止対策について

近鉄バス(株)では、新型コロナウイルス感染症防止対策として以下の対策をしており、**安心して**ご乗車いただけます。  
 【車内の主な対策】  
 ○手すり、シートをはじめ車内全体に空気触媒セルフィード加工をしています。(抗菌抗ウイルス対策)  
 ○車内空調機(一部の車両)、窓開けで換気(車内の空気は約5分で入れ替わります。)  
 ○低濃度オゾン発生装置を導入しています。低濃度オゾン発生装置の詳細については[コロナ](#)。

詳しくは[近鉄バス\(株\)のHP](#)をご確認ください。

京阪バス株式会社 新規路線の開設について

京阪バス株式会社より高速バス「京都～万博記念公園～ネスタリゾート神戸」新規路線が開設されましたのでお知らせいたします。

チラシ：高速バス「京都～万博記念公園～ネスタリゾート神戸」[PDF](#) (PDFファイル; 1086KB)

チラシにつきましては、エキスポシティ内インフォレストにて配布しております。

お問い合わせ先

[京阪バス株式会社ホームページ](#)

京阪高速バス予約センター  
 TEL：075-661-8200 (9：00～19：00)

## バス停環境の改善

## 新規

基礎調査においてバス停のベンチ・上屋の設置要望が多かったためバス停環境の改善を行い、利便性向上を図る。  
ベンチ・上屋の設置についてはバス事業者が実施し、設置に要する費用を市で補助する。

令和4年度より実施予定とし、設置する停留所については各バス事業者と協議中。

広報誌、公共交通マップによる情報提供

継続

公共交通マップの情報を毎年更新し、市内の公共施設や駅に配架及び市ホームページへの掲載を行っている。  
阪急バス株式会社の「阪急バスのノリセツ」を市役所に配架している。

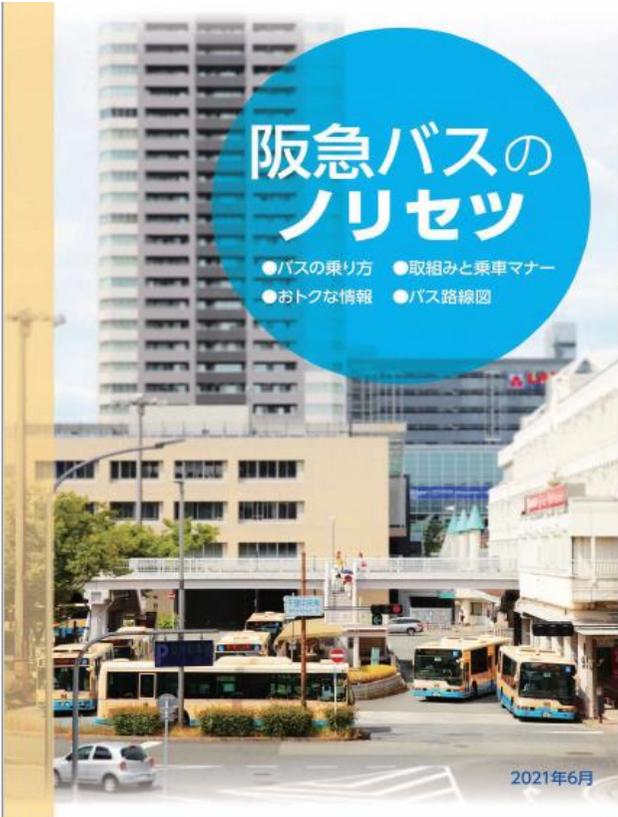
参考：吹田市公共交通マップ2022

参考：阪急バスのノリセツ

吹田市公共交通マップ2022のダウンロード

このマップに掲載している情報は、令和4年2時点のものです。(郵送については[こちら](#))

おもて面	うら面
<a href="#">おもて面ダウンロード</a> (PDFファイル; 3087KB)	<a href="#">うら面ダウンロード</a> (PDFファイル; 5554KB)
(イメージ)	(イメージ)
	
<p>(掲載情報)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通マップに掲載している情報</li> <li>時刻表を調べるには</li> <li>お問合せ先 (時刻表・運賃など)</li> <li>主なバスのりば (北千里、桃山台駅前、江坂駅前、阪急山田、南千里、JR岸辺、JR吹田北口・片山町三丁目・JR吹田、南吹田駅、吹田市役所前(阪急吹田)、千里山)</li> <li>阪急・JR吹田駅周辺拡大図</li> <li>バスの乗り方</li> <li>自転車駐車場</li> <li>便利なカード</li> <li>公共交通もっと使ってみませんか?</li> <li>民間広告</li> </ul>	<p>(掲載情報)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鉄道・バス路線図</li> <li>主な施設へのアクセス</li> <li>鉄道案内</li> <li>主なバス路線一覧</li> </ul>



2021年6月

## リアルタイムな運行情報提供 接近情報検索の継続

継続

リアルタイムなバス運行情報がわかる「接近情報検索」を継続して実施する。

参考：阪急バス「接近情報検索」

参考：近鉄バス「接近情報検索」

参考：京阪バス「接近情報検索」

## コミュニティバスへのデジタルサイネージの導入

新規

コミュニティバスにデジタルサイネージを導入し、利用者に向けたタイムリーな情報を提供し、すいすいバスで毎月紙媒体で掲示しているすいすいギャラリーのデジタル化により環境負荷低減に寄与する。

- 令和4年度中のすいすいバス（千里丘・千里山）への設置に向け、事業者と協議中。

ルート	台数
千里丘地区あおば・ひまわりルート	3台
千里山地区たけのこルート	2台

高齢者自動車運転免許証の返納者向けのサービス

新規

「吹田市高齢者運転免許証自主返納者の公共交通利用に関する補助金」

75歳以上の運転免許自主返納者に対するサポートとして、令和4年4月以降に運転免許を返納し購入したバス定期券、ICカード購入及びチャージ、タクシー乗車券の購入に対して補助金を交付する。（1返納上限6,000円）

- ・ 令和4年5月1日より受付開始。
  - ・ 関係機関との連携
    - 吹田警察署にて募集チラシの配架及び運転免許返納者へ配布
    - 吹田市福祉部高齢福祉室にて募集チラシ配架及び各地域包括支援センターへ配架
- 申請状況： 30件（令和4年7月1日時点）

参考：募集チラシ

~~~~運転免許証を自主返納された方へ（お知らせ）~~~~

吹田中に在る75歳以上の運転免許所持者で、令和4年4月1日以降に運転免許を自主返納（全部返納）した方の公共交通機関利用に係る費用を以下のとおり補助しています。

※なお、年度予算額を超過した場合は申請を受け付けることができません。

公共交通機関利用に係る交通系ICカードの購入費用を補助します。

補助対象額：1返納あたり6,000円

補助対象経費：次のいずれかの費用

- ①交通系ICカードの購入及びチャージに係る費用
- ②「PiTaPa（ピタパ）」、「ICOCA（イコカ）」等のICカード
- ③大阪タクシー共通乗車券の購入に係る費用

**補助金交付までの流れ**

1. 運転免許証を返納する。（場所：吹田警察署）
2. 公共交通機関に係る交通系ICカード等を購入する。（場所：各購入窓口）
3. 申請書一式を提出する。（場所：吹田市土木部総務交通課）
4. 審査を経て、補助金交付申請書に交付されます。

補助を受ける方は、吹田市吹田土木部総務交通課で「吹田市高齢者運転免許証自主返納者の公共交通利用に関する補助金」の交付申請書をご確認ください。

申請書等は市ホームページからも印刷できます。（QRコードはこちら）

【申請受付場所】

吹田市法台1丁目6番1号 吹田市土木部4階 総務交通課  
 吹土木部4階 総務課にお声がけください。担当職員がおり、対応いたします。

「運転免許証自主返納者の公共交通利用に関する補助金」 TEL: (06) 6155-3531

【お問い合わせ】

- ・ 申請による運転免許の取消通知書の取付
- ・ 補助対象経費を支払う際の取付
- ・ 本人が理解できない（パソコン・カードの取付、申請書取付、運転免許照会など）の取付
- ・ 取付日等（お取付日）が本人のものに取付できない（運転免許の返納が済んでいない）の取付
- ・ 「申請日より3か月以内の公共交通機関利用（乗車券が有効な期間または発行日（1日単位）の取付）があることに関する取付（申請書に記入する必要がありますので、ご留意願います。）

※交付申請が完了した場合は、申請後1か月半程度を目途に、交付決定通知書をお送りし、通知書記載の交付決定額をご指定の振込先に入金いたします。

吹田市役所 土木部 総務交通課

運転免許の自主返納について考えてみよう・・・

近年、高齢者ドライバーによる交通事故が社会問題化しています。

乗用車を運転していた高齢者が、ブレーキとアクセルを踏み間違えたことにより車を暴走させた事例に連日、歩行者・自転車らに被害は、計11人を死傷させた（母子2人が死に、母の9人が負傷）東海自動車暴走致死事故は記憶に新しいところで、このような事故が起ってほしくないと思う方は、皆さん一致しているでしょう。

身体機能の低下は個人差があるため、年齢で一括りにできるものでもありません。70歳になっても、80歳になっても元気な方はたくさんいます。でも、加齢に応じて身体機能や認知機能の低下が進んでいく傾向があることも事実です。

皆さんは、ご自分の運転に不安を持ったことはないでしょうか？

「ちょっと慣れてきただけ・・・」そうでもなく、確かにそんなことはありますよね。でも、皆さんの多くは思っているから運転されているので、ちょっと不注意だっただけなのか、自分の身体機能の低下なのかわからないと思います。

自分の変化に気づきながら「まだまだ大丈夫・・・」「あんまり大丈夫じゃないから運転をやめよう・・・」そんな気持ちで車を運転するということは、一体どういうことなのか・・・ということをご審判してみてください。



吹田市内の公共交通は一定充実しています。お住まいの場所によってバスはありますが、吹田市内の公共交通で済むところは限られています。自家用車をもたない生活が考えにくい方も一歩「吹田市公共交通マックス」を育ててください。

バス、自家用車、自転車、徒歩、駐車場、駐車場、駐車場、・・・

とてもコストがかかっていると思います。必要ならタクシーを使った方が安くつかないでしょうか？

運転をやめるのは大きな決断があることです。でも、いつかはやめる時がきます。いろんなことを考え直してみて、それでも自家用車に頼るのも判断の1つです。生活様式の変化を察して運転を続けるのも判断の1つに思います。

家族、友人なども交えながら、ご自身の運転免許の自主返納について考えてみてください。

【ウラシ】75歳以上の運転免許自主返納者へのお知らせ（1返納あたり6,000円補助）

## 学生（小、中学生）に向けた運賃補助

新規

利用促進施策として、将来需要の見込まれる市内在学の小・中学生にバスの無料乗車券を配布し、利用された分の運賃をバス事業者に補助する。路線バスを利用する環境の少ない小・中学生に「モビリティマネジメント」の一環として、路線バスを利用することにより身近に感じてもらい、日常の移動手段の選択肢として知ってもらうことで、将来需要の拡大を図り、市内路線バスの利用を促進する。

- 令和4年度より実施。

期間：夏休み始期～冬休み終期（令和4年7月21日開始）

小学生：220円（110円×2枚）中学生：440円（220円×2枚）

無料乗車券付き告知文（小学生用・中学生用）を作成し、各小中学校へ配布済

参考：無料乗車券付き告知文（小学生用）

The image displays two versions of a notice regarding the bus fare subsidy for elementary school students in Suita City. The left page is a colorful, child-friendly version with illustrations of a car, a bus, and a person walking. The right page is a more formal, text-heavy version with a map of the city and detailed information about the program.

交通事業者各社の安全運転等に関する取り組み

継続

交通事業者各社の取り組みを吹田市HPに掲載

新規

交通事業者各社で実施されている安全運転等に関する取り組みを市ホームページに掲載している。

参考：ホームページ掲載状況

JR西日本 新型コロナウイルス感染症防止対策について

JR西日本では、新型コロナウイルス感染症防止対策として以下の対策をしており、**安心してご乗車**いただけます。  
 【主な対策】  
 ○通勤車両等では、車両に設置している換気装置や空調装置または窓の開放等により常に換気を行っています。  
 ○車内の手すりや扉を定期的に消毒しています。また、駅の階段や手すり等についても可能な限り消毒しています。  
 ○駅の自動券売機等およびエレベーターに抗ウイルス・抗菌材の換気加工を施しています。  
 ○主な干区・区間の列車の時間帯別の混雑状況及び駅のご利用状況をお知らせしています。

詳しくは[JR西日本のHP](#)をご確認ください。

阪急電鉄(株) 新型コロナウイルス感染症防止対策について

阪急電鉄(株)では、新型コロナウイルス感染症防止対策として以下の対策をしており、**安心してご乗車**いただけます。  
 【車内の主な対策】  
 ○車内は空調装置のファンの稼働や、車窓の開放により、十分に換気し運行しています。  
 ○稼働する全ての車両で、抗ウイルス・抗菌加工を完了しています。  
 ○駅では、券売機や階段の手すりなど、お客様が接触に懸念される箇所を定期的に消毒しています。  
 ○ラッシュ時間帯等のご利用状況をお知らせしています。

詳しくは[阪急電鉄\(株\)のHP](#)をご確認ください。

北大阪急行電鉄(株) 新型コロナウイルス感染症防止対策について

北大阪急行電鉄(株)では、新型コロナウイルス感染症防止対策として以下の対策をしており、**安心してご乗車**いただけます。  
 【主な対策】  
 ○車内の換気のため、窓の開放を行い運行しています。  
 ○車内には、抗菌・抗ウイルス加工を施すとともに、定期的に消毒作業を実施しています。  
 ○駅では、券売機や階段の手すりなど、お客様が接触に懸念される箇所を定期的に消毒しています。  
 ○朝ラッシュ時間帯におけるご利用状況をお知らせしています。

詳しくは[北大阪急行電鉄\(株\)のHP](#)をご確認ください。

大阪モノレール(株) 新型コロナウイルス感染症防止対策について

大阪モノレール(株)では、新型コロナウイルス感染症防止対策として以下の対策をしており、**安心してご乗車**いただけます。  
 【主な対策】  
 ○車内の換気を行うため、車両の一部の窓を開放して運行しています。(3000系車両については、空気清浄機を搭載しています。)  
 ○定期的な車内消毒を実施しています。  
 ○車内および駅設備を抗ウイルス施工済みです。  
 ○全駅改札窓口および休憩スペースに手擦消毒液を設置しています。  
 ○飛沫等防止のため、改札窓口に透明シートを設置しています。  
 ○朝、ラッシュ時間帯における混雑状況を発表しています。

詳しくは[大阪モノレールのHP](#)をご確認ください。

阪急バス株式会社 新型コロナウイルス感染症防止対策について

阪急バス(株)では、新型コロナウイルス感染症防止対策として以下の対策をしており、**安心してご乗車**いただけます。  
 【車内の主な対策】  
 ○換気装置の使用と開閉等による外気導入により車内換気を実施しています。  
 ○バス車両の定期的な清掃消毒を行っています。  
 ○全車両で抗ウイルス・抗菌加工を行っています。

詳しくは[阪急バス\(株\)のHP](#)をご確認ください。

近鉄バス株式会社 新型コロナウイルス感染症防止対策について

近鉄バス(株)では、新型コロナウイルス感染症防止対策として以下の対策をしており、**安心してご乗車**いただけます。  
 【車内の主な対策】  
 ○手すり、シートをはじめ車内全中に空気触媒セルフィール加工をしています。(抗菌抗ウイルス対策)  
 ○車内空調機(一部の車両)、空開けで換気(車内の空気は約5分で入れ替わります。)  
 ○感温型オゾン発生装置を導入しています。感温型オゾン発生装置の詳細については[こちら](#)をご覧ください。

詳しくは[近鉄バス\(株\)のHP](#)をご確認ください。

京阪バス株式会社 新型コロナウイルス感染症防止対策について

京阪バス(株)では、新型コロナウイルス感染症防止対策として以下の対策をしており、**安心してご乗車**いただけます。  
 【車内の主な対策】  
 ○(車内において、車内換気装置を作動させ常に換気しています。(概ね3～5分で車内空気が完全に入れ替わります。))  
 ○定期的な車内の消毒をしています。  
 ○運転席に遮断フィルムシートを設置しています。

詳しくは[京阪バス\(株\)のHP](#)をご確認ください。

## 交通需要と供給のバランスに応じた運行の検討

新規

交通需要や供給バランス等の様々な条件を考慮しながら、適切にバス路線を見直し、公共交通の利用者数や満足度の維持向上を図る。

バス路線の見直しを行い、基礎調査において要望が多かった「阪急千里山駅～JR岸辺駅」の路線を運行する。運行は阪急バス株で実施する。

ルートにおいて佐井寺南が丘に新たなバス停留所の設置が必要であり、それに伴う道路の改修工事費用を補助する。

- 令和4年度中の運行を予定（運行開始時期については調整中）

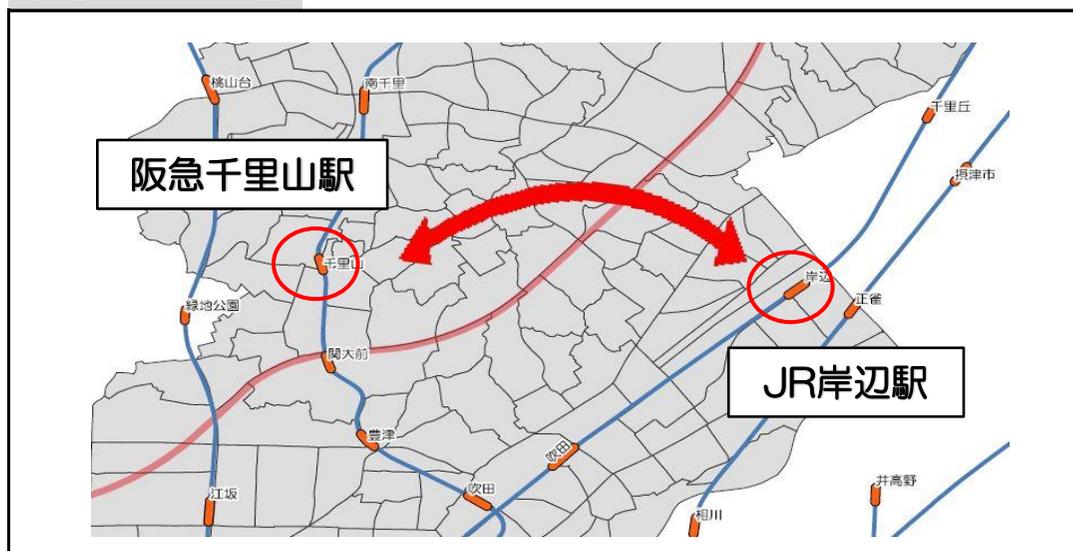
路線バス事業者に対し、バス停留所の整備に要する費用を補助する。

バス停留所整備・標識柱 × 2箇所

上屋、ベンチ

× 1箇所（大阪府実施の「都市緑化を活用した猛暑対策事業補助」を活用する）

参考：イメージ図



将来の公共交通ネットワークの形成及び拠点整備に合わせたバス路線の見直し  
(都市計画道路、土地区画整理事業に合わせた路線検討)

継続

都市計画道路の計画に合わせた将来の公共交通ネットワークの形成と拠点の整備に合わせた効率的なバス路線の改善を図るため、バス事業者と情報共有や協議を継続して行っている。

参考：都市計画道路 事業中区間図

対象事業

- 佐井寺西地区土地区画整理事業

対象事業に併せた整備工事

- 都市計画道路佐井寺片山高浜線
- 都市計画道路豊中岸部線



## 自転車駐車が不足する駅における自転車駐車の整備推進

継続

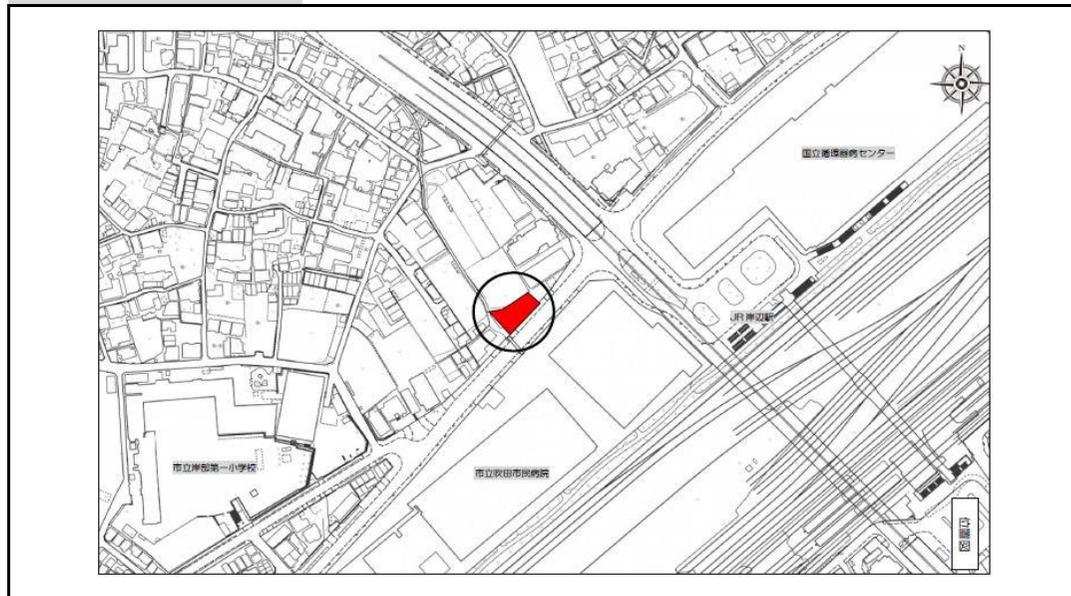
主要鉄道駅等におけるアクセス環境の充実を図るために、自転車駐車が不足している駅において自転車駐車場整備を推進する。

JR岸辺駅周辺において、自転車駐車場の整備を計画中。

令和3年度：用地取得完了

令和4年度～：自転車駐車場の整備に向けて検討している。

参考：整備予定地



## 公共交通の機能を補完するシェアサイクルの拡充

新規

公共交通を補完する移動手段として、シェアサイクル事業の有効性や、既存路線バス、タクシー等の公共交通への影響及び役割分担、さらに自転車駐車場における利用状況の変化等を明らかにすることを目的として実証実験中。  
実証実験の結果を踏まえ、より一層公共性のある移動手段として位置付ける。

令和3年1月より実証実験を開始し、シェアサイクルポートの拡充を実施している。

|       | 令和4年3月時点 | 令和4年7月時点 |
|-------|----------|----------|
| 設置箇所数 | 37       | 48       |
| ラック数  | 254      | 308      |

参考：サイクルポートの配置図及び一覧



## 乗換え動線の更なるバリアフリー化

継続

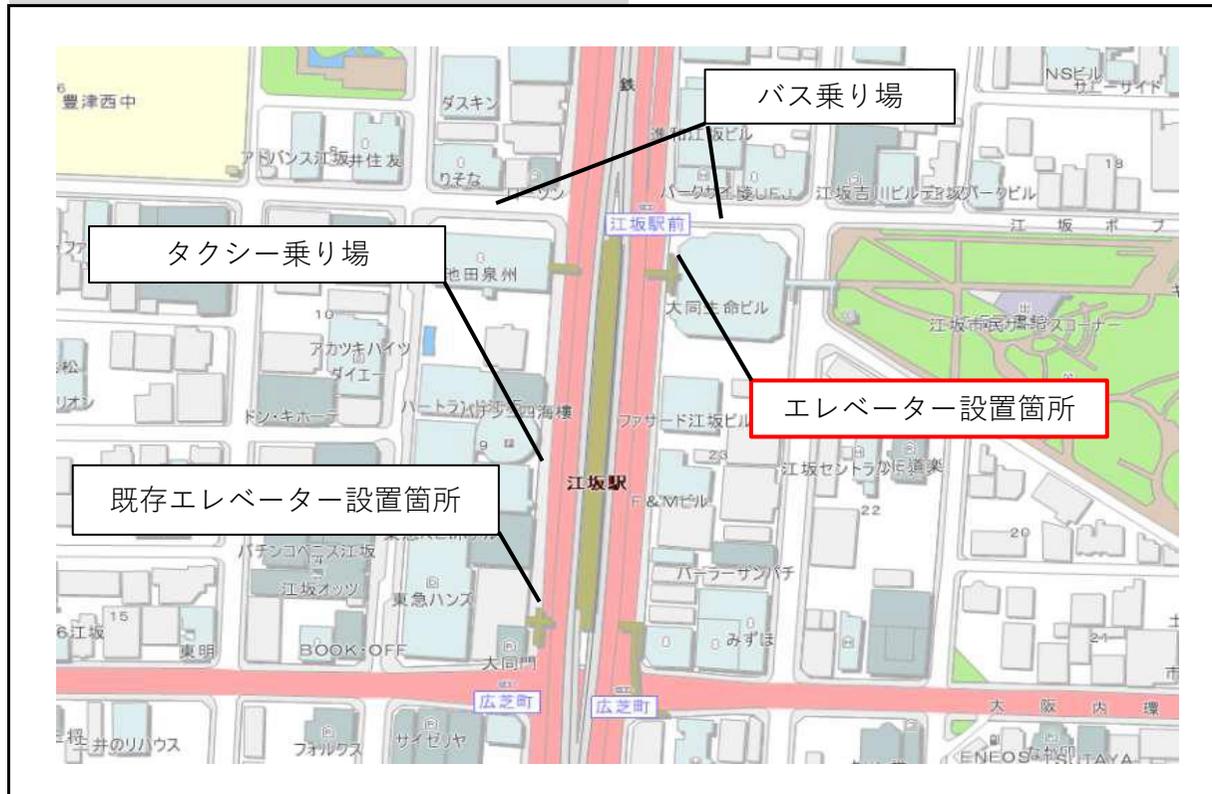
鉄道駅におけるバリアフリールート確保、最短化、複数化のためのエレベーター設置等により、バス停留所及びタクシー乗降場までの相互の乗換え動線の更なるバリアフリー化を推進する。

江坂駅へのエレベーター設置やそれに伴う歩道拡幅工事を進めおり、令和6年度の運用開始を予定している。

事業者：大阪市高速電気軌道株式会社（大阪メトロ）

令和4年度：地下埋設物及び地上施設処理工を予定

### 参考：江坂駅エレベーター設置位置図



**鉄道駅からバス・タクシー等への乗継ぎ案内情報の充実****新規**

鉄道駅から市内の主要目的地までのタクシー運賃の案内表示板の設置による情報発信を行い、乗継ぎ利便性の向上を図る。

令和4年度に市内鉄道駅において設置可能箇所を調査し、タクシー事業者と案内表示内容の調整を行い令和5年度中の設置を目指す。

| 事業者     | 対象駅：15駅                         |
|---------|---------------------------------|
| JR      | 吹田駅、南吹田駅、岸辺駅                    |
| 阪急電鉄    | 吹田駅、豊津駅、関大前駅、千里山駅、南千里駅、山田駅、北千里駅 |
| 北大阪急行電鉄 | 桃山台駅                            |
| 大阪メトロ   | 江坂駅                             |
| 大阪モノレール | 山田駅、万博記念公園駅、公園東口駅               |

**事業7****地域コミュニティ交通の創出****地域主体による交通手段導入のしくみ検討****新規**

資料-3参照

## 事業8

## 公共交通の魅力の発信

Webサイト、イベント開催、ファンクラブ、啓発グッズ制作の継続

継続

教育機関との連携（モビリティマネジメント）

新規

交通事業者各社で、公共交通の魅力の発信に関する取組みを継続して実施している。

モビリティマネジメントの一環として、将来需要の見込まれる小・中学生に路線バスの無料乗車券を配布し、路線バスを利用することにより身近に感じてもらい、日常の移動手段の選択肢として知ってもらうことで将来需要の拡大を図る。

## 事業9

## 担い手の確保

各企業における人材育成、技術継承等の取組みの継続

継続

各交通事業者の取組みを吹田市HPに掲載

新規

交通事業者各社で、公共交通の魅力の発信に関する取組みを継続して実施している。

交通事業者各社で実施されている担い手の確保に向けた取組みを市ホームページに掲載していく。

## 事業10

## 次世代交通システムの積極導入

交通事業者各社のMaaS、自動運転等の取組みの継続

継続

各交通事業者の取組みを吹田市HPに掲載、関係部局との協力・連携

新規

交通事業者各社で、次世代交通システムの導入に向けた取組みを継続して実施している。

交通事業者各社で実施されている次世代交通システムの導入に向けた取組みを市ホームページに掲載していく。